

完成！ ベビーケアルーム こだわりポイント

主に妊娠届出の面談で使用している相談室がベビーケアルームの機能を備えてリニューアル。ベビーカーごと出入りしやすいように土足で入れるようにしたり、自然で温かみのある優しい空間をイメージした内装材カラーを選んだり、いろいろこだわってみました。



①オムツ替えから授乳の前の手洗いまでの導線を考えた設備の配置 ②調乳用温水器 ③授乳スペースには哺乳量を量れるように体重計も ④壁面遊具は全部で3台。相談中や授乳中にきょうだいがいても安心



地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を活用して整備したベビーケアルーム。詳細は本紙10ページ。



妊娠・出産・子育ての総合相談窓口 [Close Up]

子育て世代包括支援センター

開所時間：平日午前8時30分～午後5時15分
役場健康づくり課(保健センター) ☎88-5533

町では、子育て世代を妊娠期から子育て期まで安心して子育てできるよう、切れ目なく寄り添いながら支援するために「子育て世代包括支援センター」を開設しています(令和2年度～)。保健師や管理栄養士などが、妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談や悩みに対応する他、各種サービスの情報を提供します。「初めての妊娠や出産で不安がある」「子どもへの関わり方が分からない」など、一人で悩まず気軽にご相談ください。



健康づくり課保健センターの職員

専門の関係機関と連携し、
あなたをサポートします



まずは、保健センターへご連絡ください。

どこにあるかって？ 実は、保健センターの中にある

子育て世代包括支援センターは、保健センターの中にあります。「ある」というより、保健センターがその機能も担っています。幅広い健康支援を町民に提供する保健センターの中で、子育て包括支援センターは、妊娠から出産、そして子育てに関連する分野を担当しています。

担当地区を持つ保健師 継続的な支援提供へ

保健師は、お母さんや赤ちゃんの悩みに対応できる専門家です。地区ごとに担当を持ち、さまざまな職種や病院などの施設間の重要なパイプ役となり、継続的な支援を提供できるようコーディネートする役割も担っています。

例えば、お母さんが周囲のサポートを得ながら、ストレスなく育児に取り組むための支援として、産後ケア(病院・助産院)やファミリー・サポート・センター

子育て世代包括支援センター(保健センター)は、保健センターの中にあります。担当保健師がいます。子どもとその家族に合った支援を継続して提供することができます。考えています。

相談先に迷ったら まずは保健センターへ

妊娠や子育てに、聞いて恥ずかしいことなどありませんし、責められたり否定されたりすることも決してありません。保健センターは「指摘」や「指導」を受ける場ではなく、必要な「支援」を受けられる場としての機能を備えています。

どこに相談してよいか迷ったら、まずは保健センターへ。ネガティブな感情も吐き出していいんですよ。気持ちが楽になったら、解決のヒントが見つかったりするはずです。どんな些細なことでも構いません。どうぞお立ち寄りください。

妊娠期から子育て期のサポート

町には、子どもの成長に合わせて、お父さんやお母さんの悩みに応えるさまざまな子育てサポートがあります。いくつかを紹介しましょう。



妊娠が分かったら

母子健康手帳と妊産婦健康診査受診票の交付

保健師の面談を受けた上で、母子健康手帳と妊産婦健康診査受診票が交付されます。妊娠中から出産、その後のことなどについて心配なことや不安なことなど何でもお話ししてください。安心して出産・育児ができるようサポートします。

面談は30～40分程度
事前に連絡ください
午前9時～11時
午後2時～4時



役場健康づくり課 母子保健係 保健師 阿久津実香

両親学級

妊婦とその家族を対象に、妊娠中や出産後の過ごし方、栄養管理、育児に関することを学べます。

赤ちゃんが生まれたら…

役場住民保険課に出生届を提出し、さまざまな手続きを行いましょう。

福祉医療費
児童手当
出産祝い

問 役場住民保険課、子ども支援課

産婦健診(産後2週間)

出産後はホルモンバランスの変化で、心身ともに不安定になりやすい時期。出産したところでフォローを受けましょう。

新生児訪問

保健師が家庭訪問し、赤ちゃんの体重を測定したり乳幼児健診や予防接種などの説明を行ったりします。育児に関する相談もお受けしています。



産後ケア

少しお休みませんか

産後1年未満の産婦と乳児が医療機関や助産院などで助産師による授乳指導や育児相談の他、休養できるサポートを受けられます。

予防接種

世界中にはとてもたくさんの感染症が存在します。その中にはワクチンで予防できる病気があります。



病気から赤ちゃんを守るため、予防接種を受けましょう。予防接種の効果などを踏まえると、生後2か月から同時接種を進めるのがおすすめです。接種の予定は早めに立てておきましょう！

役場健康づくり課 母子保健係 保健師 西岡妃夢



何かとお金もかかるから

出産・子育て応援ギフト

保健師による面談で継続的な「伴走型相談支援」と、出産・育児用品購入などの経済的な負担軽減のための「経済的支援」を合わせて行っています。



邑楽町は地域通貨「コハクペイ」で支給

	出産応援ギフト	子育て応援ギフト
金額	妊婦1人につき 5万円	子ども1人につき 5万円
申請	妊娠届出のとき	新生児訪問のとき



役場健康づくり課 母子保健係 係長 深澤大樹

ファミリーサポートセンター

一時的にお子さんを預かって欲しい人と預かることのできる人の相互援助活動で、地域で子育てを助け合う仕組みです。

問 役場子ども支援課

保育園・こども園

仕事などのため、家庭で保育できない保護者に代わってお子さんをお預かりします。

問 役場子ども支援課

オンライン健康相談

妊活、月経トラブル、更年期症状、メンタルなど幅広い内容について、認定看護師や臨床心理士の相談をLINEのようなやりとりで受けることができます。

問 保健センター



無料 ora邑楽町大字〇〇
※〇〇には、お住まいの大字を。
例) ora邑楽町大字中野

不妊治療費助成

不妊治療を受けた夫婦に、治療費の一部を助成します。

問 保健センター

不育症治療費助成

不育症治療を受けた夫婦に、治療費の一部を助成します。

問 保健センター

養育医療

入院加療が必要な1歳未満の未熟児に対して、指定医療機関における医療費の自己負担額を公費負担する制度です。

問 保健センター

1歳～

- 4か月児健診
- 1歳児歯みがき広場
- 1歳6か月児健診
- 2歳児歯科健診
- 2歳6か月児歯みがき広場
- 3歳児健診
- 子育て相談
- ことばの相談・幼児ことばの教室

産後～子育て

こんな悩みを相談できます

Q 出産後から涙が出たり、イライラしたり……どうして？

A 出産前後はホルモンのバランスの変化で、心が不安定になりやすくなります。いつでも相談してください。



▼保健師による問診



▼医師による診察

New 10か月児健診

令和6年度から

これまでの8か月児健診の対象月齢を変更して実施します(健診内容の変更なし)。
対象 該当月で満10か月になった乳児お座り、ハイハイなどの運動機能や人見知りなどの社会性の発達、予防接種の進み具合などを確認します。

※歯科診察は、1歳6か月児健診以降から行います。



▼歯科医師による診察

新生児～12か月

- ・母乳やミルク、離乳食
- ・子どもの成長や発達
- ・子育て仲間を増やしたい
- ・子育てが大変で辛い
- ・予防接種の受け方

その他

保健センターの乳幼児健診は、乳幼児期の成長を確認する大切な機会です。全ての子どもたちを見守る必要がありますので必ず受診してください。

対象者には健診日の1か月前を目安に通知します



乳幼児健診の年間予定は町ホームページに掲載しています。



役場健康づくり課 母子保健係 保健師 成塚瑠美

乳幼児健診

- Q 妊婦健診は、お金はかかりませんか？
- A 町が発行する受診票を使用すれば、助成が受けられますよ。

妊娠期～出産

その他

- ・出産の準備
- ・里帰り出産
- ・妊娠中から産後の健康管理
- ・子育ての知識を増やしたい
- ・きょうだいとの接し方

管理栄養士 監修

離乳食相談

離乳食の試食を通じて、離乳食の進め方や作り方を学べます。身体測定もします。離乳食の進み方には個人差があります。他のお子さんの様子を見たり、他のお母さんとお話ししたりする機会に♪



令和5年度にリニューアルしたメニュー表は、町ホームページからご覧いただけます。

妊婦歯科健診費用助成

妊娠中のむし歯や歯周病は早産や低体重児出産のリスクがあると言われています。安心な出産につながれるように、妊娠期間中の妊婦歯科健診費用に対し、助成します。



多胎妊婦健診費用助成

双子や三つ子などを妊娠した多胎妊婦に対し、通常の14回分に加えて、5回分の妊婦健診費用を追加助成します。

